

Osmo 実践報告書

記入日： 2023年 10月 23日

学校名	埼玉県立本庄特別支援学校
氏名	根岸 祐恵 先生

■モニター利用について

利用した Osmo の種類と個数	Osmo オズモ ジーニアス スターターキット【1台】 Osmo オズモ コーディングスターターキット【1台】
学年	高等部3年
人数	3人
実施期間	2023年9月11日～10月6日
授業時数	約5～8時間
学習指導要項における項目	数学 A 数と計算 (ア) (ウ) B 図形 (ア)
単元名	「数を知ろう」
育てたい力	数の合成、分解を理解することができる。
授業の目的	苦手意識を持っている数に対して、興味を持って学習に取り組むことができる。

■授業の展開

--	--

学習活動	数の合成、分解を理解することができる。
授業内容	数の合成、分解を Osmo オズモ ジーニアス スターターキットを使用して、自主的に学習に取り組む。
児童の学習の様子	<p>自分で Osmo をセッティングして、数の合成の課題に取り組んでいる様子。</p> 

■まとめ

成果	<p>数に苦手意識を持っている生徒だったが、ゲームやタブレット操作がとても好きで、非常に意欲的に取り組むことができた。特に、ゲーム性があるところが、本生徒の意欲をかきたてられていたように感じた。</p>
----	---

	<p>また、本生徒は、1～100までの数を時々ミスをするものの数えられてはいるが、数字と数の概念が一致するのが難しく、数字にドットを書いて1桁の足し算を始めたところに、今回の実践を行った。今回、授業以外の時間（休み時間など）に、本生徒から自主的に「やりた」という申し出もあり、かなりの学習時間を得られた。その成果もあり、数字とドットを一致させることができるようになり、足し算をスムーズに行うことができるようになってきた。</p>
<p>課題</p>	<p>生徒が非常に興味を持って、意欲的に取り組むことができた点は非常に良かったが、ステップアップに教員の助言が必要となる場面があった。生徒が自然にステップアップできると良いと思った。学校のタブレットでは、容量が少なく、他のアプリをインストールできなかった。また、アプリ導入に申請が必要で、使用するのにハードルが高いと思う場面があった。さらに、学校のiPadは、頑丈なカバーが取り付けられており、Osmoのミラーをつけるのに、大変であった。</p>
<p>児童の変容</p>	<p>生徒に、数に対する苦手意識が少なくなり、「もっとできるようになった」と学習に対する意欲が高まった。</p>